# 77 Business Report 第77期中間株主通信

# 名工建設株式会社

MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.

証券コード: 1869

# ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。 ここに、当社グループの第77期第2四半期連結累計期間(平成29年4月 1日から平成29年9月30日まで)の営業の概況につきまして、ご報告させ ていただきます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や個 人消費の緩やかな持ち直し等を背景に企業の設備投資は持ち直しており、 今後も景気は底堅く推移していくことが見込まれます。しかし世界経済に おいては、景気は緩やかに回復していますが、米国の政治的な混乱や東ア ジアにおける地政学リスクなど依然として先行きは不透明な状況となって おります。

建設業界におきましては、前年度補正予算の執行の効果による受注環境 の押し上げ効果が期待されますが、受注物件の獲得競争の激化や建設資材・

労務費の上昇傾向は継続しており、厳しい受注環境が続いております。 このような情勢下、当社グループは安全と品質確保並びに技術力の向上



代表取締役社長

渡 邉 清

を重点に事業活動を積極的に進めた結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、**売上高**は40,746百万円 (前年同期比 2,442百万円増加) となりました。利益については、営業利益が1,962百万円(前年同期比 800 百万円増加)、経常利益は2,103百万円(前年同期比 791百万円増加)で親会社株主に帰属する四半期純利益 は1.525百万円(前年同期比 561百万円増加)となりました。

通期の見通しについては、当中間期までは概ね計画通りに推移しております。また、工事利益率が年初計画 より改善すると思われますので、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益とも増加する見込み となりました。詳細は下記の通りであります。

受	注		高	825億円
売	上		高	895億円
経	常	利	益	42億円
親会社株主に帰属する当期純利益				31.5億円

株主の皆様におかれましても、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 第2四半期決算の概況

### 四半期連結貸借対照表の要旨

(平成29年9月30日現在) (単位 百万円)

							(単位	日万円)
資	産 の	部		負	債	0	の部	3
科目		金額	科			B		額
流動	資 産	51,366	流	動	負	債	3	1,994
			固	定	負	債		9,895
固定	資 産	32,052	負	債	合	計	4	1,890
				純	資	産	の部	3
有形固定資産		12,507	科			Ħ	金	額
		12,507	株	主	資	本	3.	3,328
無形固定資産		549	その	他の包括	括利益類	累計額		8,010
			非支配株主持分					189
投資その	他の資産	18,995	純	資源	全 合	計	4	1,528
資 産	合 計	83,418	負債	責純う	資産	合計	8	3,418

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 四半期連結損益計算書の要旨

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位 百万円)

科		B	金額	
売上高				40,746
売上原価				36,370
売上総利益				4,376
販売費及び一般管	理費			2,413
営	業	利	益	1,962
営業外収益				169
営業外費用				28
経	常	利	益	2,103
特別利益				230
特別損失				2
税 金 等 調	整前四	半期純利	益	2,331
法	人	税	等	788
四   半	期 紅	<b>利</b>	益	1,542
非支配株主	に帰属する	四半期純利	益	17
親会社株主	に帰属する	四半期純利	益	1,525

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ポイント

### • 貸借対照表

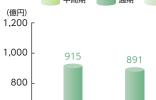
- ・総資産は、現金預金、投資有価証券の含み益が増加したことにより、 前年同期比5,600百万円増加の83,418百万円となりました。
- ・有利子負債は、工事量の増加により立替資金は増加しましたが、内部 留保による手元資金の積上げ等で借入を圧縮したことにより、前年同 期比3,768百万円減少の8,137百万円となりました。よって借入金比 率は9.8%と前年同期比5.5%改善しました。
- ・自己資本は、利益剰余金の増加と株式市況が好調であったことにより、 その他の包括利益累計額が増加したことで、前年同期比6,162百万円 増加の41,339百万円となりました。

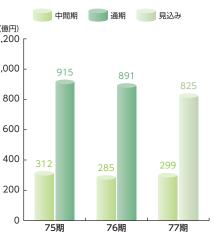
### ・損益計算書

- ・売上高は、期初の繰越工事が豊富であったこともあり、前年同期 比2,442百万円増加の40,746百万円となりました。
- ・利益面では、事務所移転等により一般管理費は増加しましたが、 完成工事高が増加したことと、収益管理の強化に努めたことで工 事利益率が改善したことにより、営業利益は前年同期比800百万円 増加の1,962百万円となりました。また経常利益につきましては営 業外収支の140百万円が加わり前年同期比791百万円増加の2,103 百万円となりました。

# 財務ハイライト

●受注高

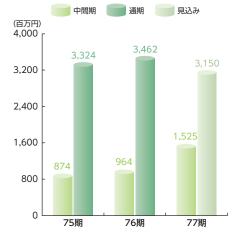




### ●売上高



### **●親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益**



# インドネシア地下鉄軌道工事

インドネシア初の地下鉄工事「ジャカルタ都市高速鉄道南 北線(15.7km)」にて当社が技術支援を行っています。

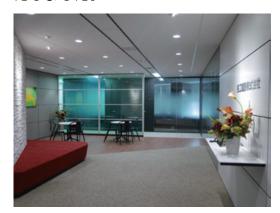
平成28年1月の契約締結以降、作業計画及び現地担当者の教育・訓練を進め、平成29年2月より施工がスタートいたしました。平成30年の開業を目指し、現在6名の技術者を現地に派遣しています。名工建設の技術力を駆使し安全で快適な線路の完成を目指します。





### 本店技術部門移転報告

平成29年7月18日(火)より本店機能の一元化と更なる業務効率化のため、本店技術部門をJRセントラルタワーズ35階に移転し、営業を開始いたしました。



# 主な今期の施工物件

### ●土木



熱田構内御田B o 新設ほか (愛知県名古屋市)



名古屋第二環状自動車道清洲高架橋他1橋耐震補強工事 (愛知県清須市)



安威川ダム 左岸道路築造工事 (生保工区H27) (大阪府茨木市)

### ●建築



新所原駅改築 (静岡県湖西市)



岡崎柱町社宅跡地計画(分譲マンション)設計・施工 (愛知県岡崎市)



名古屋名駅南ホテル開発新築工事 (愛知県名古屋市)

# 取締役及び監査役 (平成29年9月30日現在)

代	表取	(締	役社	:長	渡邉	清
取		締		役	甲坂	友昭
取		締		役	佐藤	武男
取		締		役	岡田	裕輝
取		締		役	里川	幸夫
取		締		役	速水	政彦
取		締		役	墨	弘昭
取		締		役	桒原	一生
取		締		役	藤野	陽三
取		締		役	本川	正明
常	勤	監	査	役	永田	修嗣
常	勤	監	査	役	佐藤	寛爾
監		查		役	山田	雅雄
監		查		役	新澤	隆

# 会社概要

- **■商** 号 名工建設株式会社
- ■英文商号 MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.
- **■設 立** 昭和16年6月28日
- **■資 本 金** 15億9,450万円
- ■発行済株式数 27,060千株
- ■従業員数(連結) 1,288名(平成29年9月30日現在)
- ■本 店 所 在 地 名古屋市中村区名駅一丁目 1 番 4 号 JRセントラルタワーズ

# 営業所一覧



# 株主メモ

事 業 年 度 | 定時株主総会 |

|毎年4月1日から翌年3月31日まで

毎年6月下旬

基 準 日

定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所

〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先)電話照会先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国 各支店で行っております。

公告の方法

電子公告の方法により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。電子公告掲載URL

http://www.meikokensetsu.co.jp/koukoku/index.html

# お知らせ

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口

なお、証券会社に□座がないため特別□座が開設されました株主様は、特別□座の□座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



